

第2課 指導案

第2課「高校生ですか？」

<調べ学習>

両親や兄弟などの親族関係を、中国語では何というか調べてみよう。

全2時間の第1時間目 (8p -)

	項目	指導例と留意点	指示の例
導 入 5 分	挨拶・点呼 到達目標の確認 第2課の単元目標 本時の目標	授業開始の挨拶をし、出席をとる。 第2課のポイントを紹介する。 ★ 引き続き、発音を中心に学習することを意識させる。 ★ テーマを板書する。「高校生ですか？」 ★ 到達目標を配布する。 本時の学習ポイントを紹介する。 ★ 声調符号をつける位置を学習する。 ★ 2音節語で、四声を定着させる。また、第3声+第3声の変調を学習する。 ★ “u” “ü” “i a n” のつく音を学習する。 既習語句を例示したり、生徒に思い出させるのもよい。 例：“猪” “几月” “眼睛” (第1課) など	“同学们好!” “老师好!” “现在要点名。” 今日から第2課を学習します。 到達目標のプリントを見てください。 この課でも、引き続き発音を勉強していきます。 声調符号をつける位置を覚えたり、声調の組み合わせを練習します。 また、身分や年齢を表す表現を勉強していきます。 今日は、声調符号をつける位置を勉強します。 更に声調が変化するものを覚えます。 また “u” “ü” “i a n” のつく音を学習します。
展 開 1	キーワードの学習 ● 巻末の語いリストを見て 書きましょう。	● 巻末の語いリストを見て書きましょう。(8p) ピンインの空白箇所と () 内に日本語の意味を記入させる。	8ページを開けてください。 74ページからの語いリストを見て、□にはアルファベットを書き入れてピンインを完成させましょう。ピンク色の□には、声調符号がつい

25分			たアルファベットが入ります。 () には、日本語訳を書き入れましょう。
展 開 1 25分	<p>簡体字の学習</p> <p>● 気をつけて書きましょう。</p> <p>声調符号の書き取り練習</p> <p>● 1 声調符号を書き入れ、 言ってみましょう。</p>	<p>板書して、発音と意味を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 生徒にピンインを板書させ、チェックするのもよい。 ★ 机間巡視し、必要に応じて支援する。 <p>教師用CD12を流す。</p> <p>ゆっくり模範音読し、リピートさせる。続いてコーラスリーディングする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 音読できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。 <p>● 気をつけて書きましょう。(8p)</p> <p>正しい書き順で、丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 間違い易い漢字の書き方について、注意を喚起する。 ★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。 ★ “員”(員) の下の「貝」の部分が日本語とは異なることに気付かせる。 “你” の隣の2画目は「一」ではないことに気付かせる。 <p>● 1 声調符号を書き入れ、言ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 3ページの1、2を復習し、声調や軽声を確認してから取りかかるとよい。 ★ 音の高低上昇下降だけでなく、声調符号(— / ∨ \) も確認するとよい。 	<p>では、正しく書けているかを板書で確認しましょう。 記入に間違いがないかをチェックしましょう。</p> <p>ピンインと意味が確認できたので、次は発音を練習しましょう。 まずは、CDに続いて発音してみましよう。</p> <p>次は、私の後に続いて練習しましょう。</p> <p>教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。 “員”をよく見ましよう。日本語の「員」です。下の部分の「目」の横画と「ハ」の左側の部分が1画ですね。また、最後の1画、「ハ」の右部分にははらわずに止まっていますね。 “你”の隣の2画目は「一」ではありません。気をつけましよう。</p> <p>9ページを見てください。 表の中には、それぞれふたつの音からできていることばが入っています。4つの声調と軽声の組み合わせでできていることばです。 CDを聞いて、声調符号を書き入れていきます。</p>

			<p>表の中を見てください。ピンク色のついたアルファベットに声調符号をつけます。</p> <p>まず、声調を復習しましょう。3ページを開けてください。</p> <p>第1声は、高く平らな調子です。初めから最後まで同じ高さで出しましたね。</p> <p>第2声は、真ん中あたりから、一気に急上昇させます。</p> <p>第3声は、低く抑えます。</p> <p>第4声は、一番高い位置から、一気に急降下させます。</p> <p>軽声は、前の音にそえるように軽く、短く発音します。</p>
--	--	--	---

展 開 1 25 分		<p>声調符号をつけるルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 声調符号をつける上記の6つを「日本語でア (a)、イ (i)、ウ (u, ü)、エ (e)、オ (o) と読むアルファベットにつける」につけると説明するのもよい。 ★ 声調符号をつける優先順位は、発音する時の口の大きさと連動している。大きく開ける“a”が最も高く、次に“o”“e”が続き、口があまり開かない“i”“u”“ü”が最も低くなる。 “o”“e”は同時には出てこない。 “i”“u”は同時に出ることがある。その場合は、後ろにきた方につける。 <p>★ 第2声+第2声には、すでに声調符号がついているので、例として「このようにつける」と説明するとよい。</p> <p>教師用CD13を流す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDが速ければ、教師がゆっくりはっきりと音読する。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 <p>板書して、答えを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 1行ごとに確認してもよい。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 板書して、発音と漢字、意味を確認する。 ★ 「第3声+第3声」の表記と発音が一致しないことに気づかせる。 <p>CDを流す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ ゆっくりはっきりと発音する。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。 	<p>次は、声調符号をつける位置です、声調符号をつけるアルファベットは、“a”“o”“e”“i”“u”“ü”の6つです。</p> <p>1つの音の中にこのうちの1つしかなければ、それにつけます。</p> <p>1つの音の中に複数ある場合には、どれにつけるか、優先順位が決まっています。</p> <p>優先順位が一番高いのは“a”で、その次が“o”と“e”です。</p> <p>“o”と“e”は同時には出てきません。</p> <p>優先順位が一番低いのは“i”“u”“ü”です。“i”と“u”は同時に出てくる場合があるので、その時は後ろにきたほうにつけます。</p> <p>例えば、表の上から2行目、左から2つ目を見てください。</p> <p>1つ目の音“yao”は、実は、“y”は“i”で、“i”“a”“o”からできている音です。一番優先順位の高いのは“a”です。ですから声調符号は“a”についていますね。</p> <p>2つ目の音“tou”は、“o”と“u”があります。優先順位が高いのは、“o”ですね。</p> <p>このように声調符号をつけていきます。</p> <p>では、CDを流します。</p> <p>CDでは上の行から下の行へ、左から右へ読んでいきます。</p> <p>声調符号を書き入れていきましょう。</p> <p>聞き取れましたか。</p> <p>それでは答えを確認しましょう。</p> <p>誰か発表してくれませんか？</p> <p>間違いがないかをチェックしましょう。</p> <p>「第3声+第3声」は1つ目の第3声が第2声に変わりますね。表記はそのままで。注意しましょう。</p> <p>では、みんなで発音練習しましょう。</p>
--	--	---	--

展 開 1 25 分	<p>発音の練習</p> <p>● 2 声調に気をつけて言ってみましょう。</p> <p>発音の練習</p> <p>● 3 ピンインに気をつけて言ってみましょう。</p>	<p>● 2 声調に気をつけて言ってみましょう。</p> <p>★ 「第3声+第3声」の表記と発音が一致しないことを確認する。</p> <p>教師用CD14を流す。</p> <p>★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。</p> <p>★ 板書して漢字、意味を確認する。</p> <p>★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。</p> <p>● 3 ピンインに気をつけて言ってみましょう。</p> <p>教師用CD15を流す。</p> <p>★ 板書して漢字、意味を確認する。</p> <p>★ 唇の形、音がわかるように、ゆっくりはっきりと発音する。</p> <p>発音練習をする。</p> <p>★ ゆっくり、繰り返し発音する。</p> <p>★ 机間巡視し、必要に応じて支援する。</p>	<p>次に、第3声と第3声の組み合わせを練習しましょう。表記と発音が一致しませんでしたね。前の第3声は第何声で読みましたか。覚えていますか。表記はそのままですが、第2声で読みましたね。では、CDの後に続いて発音練習しましょう。</p> <p>続いて、“u” “ü” “i a n” のつく音を勉強しましょう。まずは、CDを聞いてみましょう。</p> <p>では、詳しく見ていきましょう。まずは“u”で終わる音です。“u”は、唇を前に突き出して「ウ」を発音します。前に子音が見つからない時は“w u”とつづります。(その他のことばは、発音指導例参照)</p> <p>次に“ü”で終わる音です。唇を前に突き出して、「イ」を発音します。前に子音が見つからない時は“y u”とつづります。“u”の上の“..”はつけません。“q u”を見てください。この“u”は「ウ」ではありませんね。唇を前に突き出して「イ」と発音する音ですね。“j” “q” “x”につく“ü”は、上の“..”をつけません。覚えましょう。</p> <p>最後に“i a n”です。この“a”は「ア」と読まず「イエン」と発音します。前に子音が見つからない時は、“i”を“y”に替えて“y a n”とつづります。</p> <p>それでは、発音練習をしましょう。</p>
--	---	---	--

展 開 2 15 分	<p>会話文1の練習</p> <p>● 高校生ですか？</p>	<p>● 高校生ですか？(10p)</p> <p>会話の場面を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ “动物园 dòngwùyuán” を板書して説明する。 ★ イラストを手掛りにどんな会話をしているか、推測させる。 <p>教師用CD16を流す。</p> <p>内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ “…吗？”は諾否(yes-no)疑問文であること、その答えが“是”“不是”となることを確認させる。 ★ 大まかな内容を把握できたか。 ★ 教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でも構わない。 <ul style="list-style-type: none"> ・係員は澤田君に、何と質問していましたか。 ・澤田君は何と答えていましたか。 ・近くにいる女の子も澤田君と同じ高校生でしたか。 ★ 漢字、意味を確認する。 <p>発音の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。 ★ 場面を想像しながら読めるように留意する。 <p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 <p>何組かに発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。どんどん褒める。 	<p>10ページを見てください。</p> <p>澤田君が“动物园”、動物園の入場券売り場で、係員と会話をしています。</p> <p>ふたりがどんな会話をしているのか聴いてみましょう。</p> <p>どうですか？どんな話をしていたか、わかりましたか？</p> <p>係員が“请问，…？”と、澤田君に質問していますね。</p> <p>“…吗？”は、イエスかノーかを尋ねる疑問文です。</p> <p>また、2行目の“是，…”は、「イエス」という答えを表します。</p> <p>“她”は、「彼女」という意味でしたね。澤田君の近くに女の子がいますね。その子のことをさしています。</p> <p>4行目の“不是，…”は、「ノー」という答えを表します。</p> <p>係員「お尋ねしますが、あなたは高校生ですか。」</p> <p>澤田君「はい、僕は高校生です。」</p> <p>係員「彼女もまた高校生ですか。」</p> <p>澤田君「いいえ、彼女は中学生です。」</p> <p>それでは、発音練習をしましょう。</p> <p>では、隣の人と対話練習してみましょう。役割を替えても練習しましょう。</p> <p>できた人は、前後の人とも練習してみましょう。</p> <p>後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>しっかり練習できましたか。それでは発表してもらいましょう。</p> <p>誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p>
----------------------------	---------------------------------	--	--

<p>展 開 2 15 分</p>	<p>発音の練習 ● 1. “不”の声調に注意して 言ってみましょう。</p> <p>置き換え練習 ● 2 言ってみましょう。</p> <p>簡体字の学習 ● 気をつけて書きましょう。</p>	<p>● “不”の声調に注意して言ってみましょう。 教師用CD17を流す。 ★ 漢字、意味を確認する。</p> <p>発音の練習をする。 ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。</p> <p>● 2 言ってみましょう。 ★ 有気音の“请”、そり舌音の“是”、“学”の“ü”、“生”の“e n g”は、 特に注意する。</p> <p>教師用CD18を流す。 ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。</p> <p>● 気をつけて書きましょう。(10p) 正しい書き順で丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか 机間巡視し、必要に応じて支援する。 ★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。 ★ “吗”の旁の部分は馬であることに気づかせる。</p>	<p>否定を表す“不”は、本来は第4声です。 “不”の後に第4声が来た場合には、表記も発音も第2声に変わります。 まずは、CDを聞いてみましょう。</p> <p>発音練習をしましょう。</p> <p>では、本文1に出てきた“请问，你是…吗？”を使った会話練習を してきましょう。 まずは単語の確認をしましょう。 「大学生」は中国語では何と言いますか。 — “dàxuéshēng” はい、よく出来ました。(以下も同様に)</p> <p>発音練習をしましょう。</p> <p>教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。 “吗”の旁の部分は「馬」で、簡略化されています。</p>
<p>ま と め 5 分 挨拶</p>	<p>まとめ 9-10pをCDに合わせて音読する。 ★ 発音、声調、スピード、語調などを意識させる。</p> <p>次回の授業内容の予告をする。</p> <p>授業終了の挨拶をする。</p>	<p>まとめ では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。</p> <p>次の時間は、「誰ですか？」や「何歳ですか？」などの表現を勉強しま す。 “同学们，再见！” “老师，再见！”</p>	

<板書例>

第2課 高校生ですか？
今日のテーマ

1. 声調符号をつける位置を学習する。
2. 第3声+第3声、“不”の変調を学習する。
3. “u” “ü” “i a n” のつく音を学習する。

第3声+第3声 ∨ + ∨
↓ ↓
第2声 /

* 第3声+第3声を板書する際、例（“你好”など）を挙げて、“nǐ”を“ní”と板書してしまうと、第2声で覚えてしまうこともあるので注意する。

<宿題>

キーワードと簡体字の書き方練習を、この課に入る前の授業の宿題（予習）としてもよい。その場合、導入の段階で作業ができているか確認を行う。

第2課 指導案

全2時間の第2時間目 (11p-)

	項目	指導法と留意点	指 示
導 入 5 分	挨拶・点呼 ウォーミングアップ&復習 本時の到達目標の確認	挨拶をし点呼をとる。 復習 教師用CD13を聴かせる。 ★ 前時で学習した2音節語が言えるか確認する。 ★ 生徒を指名して発音させるのもよい。 本時のポイントを簡単に紹介する。 ★ 疑問詞“谁”や“多”を使う疑問文を学習する。 ★ “u e n” “i o u” “u e i” で終わる音を学習する。	“同学们好!” “老师好!” “现在要点名。” では、前の時間の復習をしましょう。 9ページを開けてください。CDにあわせて、発音しましょう。 続いて10ページの会話を復習しましょう。 声調に気をつけて、リズムよく読みましょう。 はい、よく出来ました。 今回は「彼(彼女)は誰ですか。」という質問の仕方や年齢の尋ね方を勉強します。 また“u e n” “i o u” “u e i” で終わる音を勉強します。
展 開 1 15 分	会話文2の練習 ● 彼は誰?	● 彼は誰?(11p) 会話の場面を紹介する。 ★ イラストを手掛りにどんな会話をしているか、推測させる。 教師用CD19を流す。 ★ 疑問詞“谁” “多(大)”を使う疑問文では、英語のように疑問詞を文頭に置くのではないことに注意を向ける。 ★ “多”は「多い」という意味ではなく、「どのくらい〜」という疑問を表すということを確認させる。	11ページを見てください。 今回は澤田さんと寺本さんの会話です。寺本さんが澤田君に写真を見せています。写っている人物について話しているようです。誰が写っているのでしょうか。寺本さんはうれしそうに話しているようですが、澤田くんは… ではCDを聞いてみましょう。 どうですか? どんな話をしていたか、わかりましたか? “他”は8ページの7で出てきました。男性をさす「彼」という意味でしたね。“谁”はどんな漢字かわかりますか? 左側は「ごんべん」です。では“他是谁?”はどういう意味でしょう?

展 開 1 15 分	置き換え練習 ● 1 言ってみましょう。	<p>★ 大まかな内容を把握できたか。</p> <p>★ 教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でも構わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真にはどんな人が写っているのでしょうか。 ・寺本さんは何と答えていますか。 ・澤田君は次にどんな質問をしましたか。 ・寺本さんはどう答えていますか。 <p>発音の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ CDまたは教師の後について、発音練習をする。 ★ 声調に気をつけて、リズムよく読めるように留意する。 ★ 場面を想像しながら読めるように留意する。 <p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 <p>何組かに発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。どんどん褒める。 <p>● 1 言ってみましょう。</p> <p>★ 絵カードを見せるとよい。</p> <p>ゆっくりはっきりと発音する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 絵カードを見せながら、発音させるとよい。 ★ リズムよく読めるように留意する。 	<p>澤田君「彼は誰？」 寺本さん「彼は私のボーイフレンドよ。」 澤田君「本当?! 彼はいくつ？」 寺本さん「18歳よ。カッコいいでしょう！」 澤田君「う〜ん、まあまあかな。」</p> <p>それでは、発音練習をしましょう。</p> <p>では、隣の人と対話練習してみましよう。役割を替えても練習しましょう。 できた人は、前後の人とも練習してみましよう。 後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>しっかり練習できましたか。それでは発表してもらいましよう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>では、本文2に出てきた“他是谁?” “他是…”を使った会話練習をしてみましよう。</p> <p>まずは単語の確認をしましよう。 “妈妈”は何という意味でしょうか。—「おかあさん」 その通りです。(“爸爸”も同様に) “爷爷” “奶奶”は何でしょう。</p> <p>では発音の練習をしましよう。</p> <p>次に、会話の練習をしましよう。</p>
--	-------------------------	---	--

<p>展 開 1 15 分</p>	<p>簡体字の学習 ● 気をつけて書きましょう。</p>	<p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に練習させる。 ★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 ★ 場面を理解しながら読めるように留意する。</p> <p>何組かに発表させる。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。</p> <p>● 気をつけて書きましょう。(11p) 正しい書き順で丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。 ★ 間違い易い漢字の書き方について注意を喚起する。 ★ 日中での漢字の違いに注意を向ける。 ★ “真”(真)が「十」の下が「目」でないことに気づかせる。 ★ “岁”(歳) ★ “以”(以)日本語より1画少ないことに気づかせる。</p>	<p>ペアワークをしましょう。それぞれの役を交代で練習しましょう。</p> <p>後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>では、発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。 “真”は「真」の簡体字です。「十」の下は「目」ではありません。 “岁”を見てください。「歳」の簡体字です。「山」の下に「夕」です。 “以”は、1画目を右上へ跳ね上げ、1画で書きます。</p>
<p>展 開 2 25 分</p>	<p>練習問題 ● 1 ピンインに注意して 言ってみましょう。</p>	<p>● 1 ピンインに注意して言ってみましょう。</p> <p>教師用CD21を流す。 ★ “u e n” “i o u” “u e i” に子音が見つからない時の表記が、これまでと違うことに留意する。 ★ 子音が付かない場合、“u”を“w”、“i”を“y”と書くことに注意を向ける。 ★ 子音が付く場合、真ん中にある“e”や“o”は表記上消えるが、忘れずに発音することに注意を向ける。</p>	<p>12ページを見てください。 練習問題の1番、“u e n” “i o u” “u e i”で終わる音です。 この3つは、表記上の約束事があるので、注意が必要です。</p> <p>まずはCDを聴いてみましょう。ピンインを見ながら聴いてください。</p> <p>表記と発音が、少し違うのがわかりましたか。 では詳しく見ていきましょう。</p> <p>左側の色の付いている部分、“u e n” “i o u” “u e i”と書いてありますね。 それぞれに()の部分がついています。 これは、“u e n” “i o u” “u e i”の前に、“d”や“k”などの子音がつく時は、その後は()のように書きます。 今までとは違いますね。</p>

展 開 2 25 分		<p>★ “<u>u</u>en” → “<u>w</u>en” “d” + “u en” → “dun”、“k” + “u en” → “kun”</p> <p>★ “<u>i</u>ou” → “<u>y</u>ou” “j” + “i ou” → “jiu”、“d” + “i ou” → “diu”</p> <p>★ “<u>u</u>ei” → “<u>w</u>ei” “g” + “u ei” → “gui”、“d” + “u ei” → “dui”</p>	<p>今までは、例えば“誰”は“sh”に“ei”が続く時は、“shei”とそのまま続けて書きました。 しかしここに挙がっている3つは、真ん中の“e”や“o”を書かないのがわかりますか。</p> <p>では、ひとつめの“uen”を見てください。 “uen”の前に何も付かない場合は、“u”を“w”に替えて“wen”と書きます。 唇を前に突き出して「ウ」を発音した後「エ」が続けます。</p> <p>次に“dun”です。これは“d” + “uen”ですが、真ん中にある“e”は表記上、取れます。 「ドゥン」ではなく「ドゥエン」と「エ」の音をしっかり出します。 （“困”も同様に）</p> <p>ふたつめの“iou”を見てください。 “iou”の前に何も付かない場合は、“i”を“y”に替えて“you”と書きます。 「ユー」ではありませんよ。 口角を左右にひいて「イ」を発音した後、「オウ」と続けます。</p> <p>次に“jiu”です。これは“j” + “iou”ですが、真ん中にある“o”は表記上、取れます。 「ジウ」ではなく「ジョウ」と「オ」の音をしっかり出します。</p> <p>第1課の3ページに出てきた「牛」も「ニウ」ではなく、「ニオウ」と発音しましたね。覚えていますか。 （“丟”も同様に）</p> <p>3つめの“uei”を見てください。 “uei”の前に何も付かない場合は、“u”を“w”に替えて“wei”と書きます。 唇を前に突き出して「ウ」を発音した後、「エイ」と続けます。 次に“gui”です。これは“g” + “uei”ですが、真ん中にある“e”は表記上、取れます。 「グウイ」ではなく「グウエイ」と「エ」の音をしっかり出します。 （“隊”も同様に）</p>
------------------------	--	--	---

<p>展 開 2 25 分</p>	<p>● 2 絵を見て、日本語の意味に合うように下線部に中国語を書き入れ、会話を完成させましょう。</p> <p>● 3 例のように3つの文を作りましょう。</p>	<p>ゆっくり模範音読し、リピートさせる。 ★ ゆっくり、はっきり発音する。 ★ 正しく発音できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p> <p>● 2 絵を見て、日本語の意味に合うように下線部に中国語を書き入れ、会話を完成させましょう。</p> <p>★ 正しく訳せているか机間巡視し、必要に応じて支援する。 ★ 日本語は口語で書かれているので、わかりにくいようであれば書面語に直すのもよい。 彼女は誰？ → 彼女は誰ですか？ 彼女は大学生かい？ → 彼女は大学生ですか？ 彼女は何歳？ → 彼女は何歳ですか？ 姉さんのボーイフレンドよ。 → 彼は(私の)お姉さんのボーイフレンドです。</p> <p>何組かに発表させる。 ★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★ 生徒の発音、声調を確認しながら、板書する。</p> <p>● 3 例のように3つの文を作りましょう。</p>	<p>では、発音してみましょう。</p> <p>続いて、練習問題の2番です。 会話文のところどころに下線が引いてあります。横に日本語が書いてありますので、中国語に訳してみましょう。</p> <p>どうですか、できましたか？ では、発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。澤田君、寺本さんそれぞれを、誰か発表してくださいませんか？</p> <p>よくできていました。</p> <p>次は3番です。13ページです。 まずは、例を見てください。 女の人がダンスを踊っていますね。この人について、3つの文を使って紹介しています。 ① 私の母です…彼女は、私のお母さんです。“她是我的妈妈。” ② 45歳です…彼女は45歳です。“她四十五岁。” ③ ダンスができます…彼女はダンスができます。“她会跳舞。” 「～できる」は“会”という助動詞で、動詞“跳”の前に置きます。</p>
-----------------------------------	--	--	---

展 開 2 25 分	<p style="color: red;">● 4 CDを聞いて、中国語で答えましょう。</p>	<p>★ 日本語は口語で書かれているので、わかりにくいようであれば書面語に直すのもよい。</p> <p>★ 「カッコいい」は既習 (11p) の“酷”でもよい。</p> <p>何人かに発表させる。</p> <p>★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。</p> <p>★ 生徒の発音、声調を確認しながら、板書する。</p> <p>ゆっくり模範音読し、リピートさせる。</p> <p>★ ゆっくり、はっきり発音する。</p> <p>★ 正しく発音できているか留意する。机間巡視し、必要に応じて適宜指導する。</p> <p style="color: red;">● 4 CDを聞いて、中国語で答えましょう。</p> <p>教師用CD22を流す。</p> <p>★ CDが速ければ、教師がゆっくりはっきりと音読する。</p> <p>★ 机間巡視し、必要な生徒には支援する。</p> <p>答えを板書し、確認する。</p> <p>★ できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。</p> <p>(解答例)</p> <p>1 是, 我是高中生。(Q 请问, 你是高中生吗?)</p> <p>2 我十七岁。(Q 你多大?)</p>	<p>では、下の2つの問題をやってみましょう。</p> <p>1 ① 彼女は、張先生です。 ② 彼女は28歳です ③ 彼女は、スケートができます。</p> <p>2 ① 彼は、澤田君です。 ② 彼は、私のクラスメートです。 ③ 彼は、カッコいいです。</p> <p>どうですか、できましたか? では、発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか?</p> <p>よくできていました。</p> <p>発音練習しましょう。</p> <p>練習問題4番です。 CDの質問に、実際の状況に基づいて、中国語で答えてください。</p> <p>それではCDを聞いてみましょう。 聞き取れましたか。</p> <p>それでは答えを確認しましょう。 誰か発表してくれませんか</p>
------------------------------------	---	--	--

5分 まとめ 挨拶	まとめ 11-12p をCDに合わせて音読する。 ★ 発音、声調、スピードなどを意識させる。 チェックリストを配布する。 宿題提示と次回の授業内容の予告をする。 授業終了の挨拶をする。	では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。 それでは第2課の達成度のチェックをしましょう。 今日の宿題です。 次回から第3課に入ります。14ページのキーワードを75、76ページを見て書きこんでください。 “同学们，再见！” “老师，再见！”
-----------------	---	--

<板書例>

第2課 高校生ですか？
 今日のテーマ
 1. 「彼（彼女）は誰ですか。」という質問の仕方
 2. “u e n” “i o u” “u e i” で終わる音

“u e n” “i o u” “u e i” で終わる音

“u e n (-u n)”	“ <u>u</u> e n” ↓ “ <u>w</u> e n”	“□” + “u e n” ↓ “□ e n”
“i o u (-i u)”	“ <u>i</u> o u” ↓ “ <u>y</u> o u”	“□” + “i o u” ↓ “□ i u”
“u e i (-u i)”	“ <u>u</u> e i” ↓ “ <u>w</u> e i”	“□” + “u e i” ↓ “□ u i”

<宿題>

次の課のキーワードと簡体字の書き方練習を、宿題（予習）としてもよい。その場合、導入の段階で作業ができて
いるか確認を行う。